

会場⑤—4 文化学園長野中学校①

- 4つのRをテーマに生徒会で活動を行っている様子が印象的でした。コットンのエコバッグが本当に環境に優しいのかという批判的な視点から生徒たちで試行錯誤をしている様子が素敵だと思いました。また、盲学校の生徒たちとも交流を深めている様子が見られ、とても素敵な活動をしていると思いました。
- 素敵な発表をありがとうございました。盲学校との子どもとの関わりの中で、先入観があったということに気づけるということはなかなかできないことだと思います。水を汚さない、廃油石鹸づくりという取り組みはとても興味深かったです。ジェンダーレスという視点は蔑ろにされがちであるので、このような取り組みがもっと広まっていけばいいと思います。
- 素敵な発表ありがとうございました。一度得た失敗や改善点を次に活かしていたところが良いと感じました。ジェンダーレス制服や廃油せっけんなど根拠に基づいた活動を行っていて素晴らしいと感じました。制服の歴史はとても分かりやすく面白いと感じました。
- あまり触れるのが難しい、ジェンダーに関することを、自分たちの身近に合わせて考えていることは、良いことだと感じた。実際に行っていくうえで、当事者の心のケアなどはどのようにして行っていたのか気になった。
- 事実を列挙するのみではなく、事実を基に視点を絞った考察また活動の省察が行なわれていた点が素晴らしいと思いました。廃油せっけんや点字紙エコバックもジェンダーレス制服も必要性は大きいものの壁も厚い問題であると思います。しかし達成をあきらめずに主張を続けていただきたいなと思いました。応援しています。
- 生徒会の取り組みについてレジ袋を使わないためにマイバックを作る取り組みについて分かりやすい成果発表でありました。今までの生徒会の活動の課題から全校で活動できる取り組みについて考えて、昨年の取り組みも入れつつ、今年の活動に取り組んでいると思いました。
- 盲学校の人たちからエコバッグを作ることに関する技術や情報だけではなく、その他のことに関しても学びを得ていることが素晴らしいと思いました。相手を理解すること、当たり前を疑うことは何事にも大切な考え方になってくると思います。廃油石鹸は多くの目標に関わっていて驚きました。ぜひ商品化してほしいと思います。制服は生徒の意見反映と時間の関係を表すスライドがとても分かりやすく、ニーズの立場になって深く調べられていると思いました。
- まず素晴らしいと思ったのは、調べがものすごくされているということ。自分たちで主体的に調べ、考えたということが非常に良く伝わってきました。すぐに解決できる問題ではないと思いますが、考え続けることが大切だと思いました。バック作りも試行錯誤されていましたね。またチャレンジしてよいものが作れるといいですね。
- 素晴らしい発表をありがとうございました。文化学園長野中学校では、SDGsの目標と絡めて、長野盲学校の皆さんとも協力して実践していました。エコバックは本当に必要か？やジェンダーレス問題に触れるなど、

難しい問題・深い問題について考えてしました。その両者の問題において、今に至るまでの歴史や背景を知り、その上で自分たちの思いはどうかを考える姿は素晴らしいと思いました。前者の環境問題、後者の社会問題は私たちすべての人間が考えていかなければならない問題であると考えます。そういった意味で、文化学園長野中学校のみなさんの素晴らしい考えや発想力を是非多くの人へ発信し、多くの人と考え合っていてほしいと思いました。

- 環境負荷の小さいエコバッグやジェンダーレス制服について真剣に考えている様子が印象に残りました。今回の発表を聞き、私も一見正しいと思われるものを疑ってみる姿勢を見習いたいと思います。発表ありがとうございました。
- レジ袋は有料になったが、確かにエコバックはエコなのか考えたこともありませんでした。エコの考えかたについてとても考えさせられる発表だと感じました。いろいろなエコバックを見て調べ自分で使っていきたいと思いました。
- 環境に対しての活動としては廃油を使った石けんを作る活動ということだったが、文化学園長野中学校さんの発表を聞いて改めて油というものは水質汚染の主な原因になっているのだと感じた。また、LGBTQ について私は議論したり考えたりする経験が少なかったが、今回の発表から新鮮な意見を聞くことができた。個性を尊重し、自身の性を表現する制服を着ることが自身の性のカミングアウトにもなってしまう葛藤を抱えている人は多く居るのではないかと感じた。
- 環境問題に対して自分たちができることを考え実践することは、環境問題を身近なものとしてとらえ活動できるため非常に有意義だと感じました。また全校を巻き込んで PDCA を回すことは子どもたちの将来のために重要になる経験だと思います。
- 4つのRの活動を軸にエコバックの耐久性などについて考え、その問題を解決するために動いただけでなく、そのほかの問題に関しても解決をしようという意欲が見えていたのでそれが普段の学校生活でもできているからこそ今回もできているのではないかと感じました。
- エコバックが逆に経済に負担がかかることは驚きました。またSDGsの活動に伴い、盲学校の生徒と関わることで、得たものが多くて良い経験だと思いました。4Rを基に総合的な学習の時間を学ぶことを応援します。制服の多様性はこれからどんどん広がると思います。今から詳しく考えて、課題点や解決策を見つけていて素晴らしい活動だと思いました。
- 4つ目のRがあったことは知りませんでした。新たな学びを与えてもらいました。「新聞紙が破れやすい」「新聞紙も捨てる、ということに反論できなかった」というように、できたことだけでなく、見えてきた課題も発表できていて素晴らしかったです。また、SDGsから盲学生とのかかわりにまで奥のことを学んでいることがよくわかりました。パーム油については、私も大学で学びました。本当に様々な視点での活動が行われていることが伝わってきて、非常に驚かされました。
ジェンダーについても、私は大学で学び、かなり自分でも調べました。文化学園の発表は、とても調べられていたと思います。少し気になったところとして、「カミングアウト」や「LGBTQ」など、専門用語が多く見られたので、その説明をもう少し詳しくすれば、もっと素晴らしい発表になったと思います。

- プロジェクトそれぞれにおいて、詳しい資料が提示されたため、説明の補足となり理解しやすかったです。様々な視点から学校でできることを考え、実行に移すことはなかなかできることではないため、感心しました。また4つのRについて最初に述べられていた点が、利き手の理解を促す工夫だと感じました。
- 前半、批判的な目をもって、エコ活動に着目しているのがよいなと思いました。点字紙に着目すること、そして試行錯誤をしていて興味深いと思った。エコバッグに焦点を当てて活動していたためまとまりがあるなと感じた。いい視点で物事をとらえられていました。これからも継続していただきたいです。後半、服装は個性を表現するものに変ったという説明が分かりやすかったです。着目点が時間と生徒の意見と明確であり、グラフを使った分かりやすい説明が印象的でした。目指すところも明確でよいと思った。発表として抜かりない準備と調査だと思いました。この調べたことを今後の生徒会にどう生かすのか楽しみにしています。
- 4Rについてとジェンダーの問題について取り組んでおり4Rの観点では別の学校と協力して環境問題の解決に努めているということが素晴らしいと思いました。ジェンダーの問題では、学校の制服問題について触れ、制服の変更の時期から考察してどう改善していけばよいのか考えていることがとても良いと思いました。どちらも調べたことが思うような結果でなくてもまた別の方法でトライしてみるということをしており、継続していくことが大切になってくるのでこれからも頑張ってください。
- 点字紙を利用したエコバッグはなかなかひらめかない素材だと思うのですごいと思いました。紙が固かったり取っ手をつけられなかったりとうまくいかなかったようですが、デメリットをメリットに変えるような工夫が必ずあると思うので、もう少し粘っても良いと思いました。また、ジェンダーレス制服に関しては、講評でもあったように、貧困の視点からも考えるとさらによい提案ができると思うので、頑張ってもらいたいと思いました。
- 実際の取り組みから課題を見つけその克服に向けて活動を行なっていることがいいとおもいました。そこから盲学校と協力している中で目の見えない人はそれぞれ見え方が違うという違いに気がついていることが素晴らしいと思います。小学校からレベルアップした学習内容から活動計画を立てていたり、実際にやってみる前にメリットとデメリットを考えていたりするところが素敵だと思いました。そして、制服までに着目して歴史的変化や時代の変化に合わせた制服の変化からどんな制服が必要か考えられているところが素晴らしいと思いました。私はLGBTの人は自分に合った制服を着たいのではないかと考えていましたが、カミングアウトになってしまうことや形だけということを知り、自分では考えもしなかったことなので新しい学びでした。
- 点字紙を用いたプロジェクトの発表ありがとうございました。ビニール袋の有料化に伴い、本当に環境にやさしいのか批判的な視点から物事を考えていて感銘を受けました。また、ジェンダーについて、歴史などを鑑みて20年に1回ほど学校の制服を見直すことがいいとわかりました。今後もレベルアップして多様性が認められるようになると良いなと思います。
- 自分たちなりに色々考えながらPDCAサイクルを上手く回せていると感じました。これこそが探究的な学習だと思いました。及川教授が仰っていたように、廃油や点字紙の活用は一時的に効果があるものの、持続可能とは言い難いものがあります。しかし、活動をする中で様々な人とかかわったり、その活動をしていなければ知らなかったことを知ることができていたりと思うので、今後も探究的な学びを続けてほしいと思います。

- 合成洗剤やパーム油、ジェンダーに関する資料やデータを集め、分かりやすく整理してあるところが印象的でした。また、生徒自身が関心を持って主体的に取り組んでいる姿が感じられました。水質汚染を考える上では、様々な技術が関わってくるので、それらの技術などについても調べて見ると良い改善策が考えられると思います。そして、ジェンダーに関する問題について私も興味があるので、今後も継続して取り組み続けて欲しいと思いました。
- かなりセンシティブな話題について生徒主体で課題意識をもちチャレンジしようとしているのが本当に素晴らしいと思いました。自らの課題意識について追究し続けているのが、課題が変わっても生きる力だと思います。
- 一教師として、ものすごく考えさせられる発表でした。LGBTQ に関する話題を生徒がとことん探究し続けた、その熱量がまず驚きでした。いくら自分たちが着る制服だからといっても、あそこまで課題探究を多面的・多角的に行うことは、教師という立場からすれば非常に難しかったでしょうし、根気がいることだったと思います。だからこそ、その熱量を生徒たちにかにもたせ続けるか、その熱の発生を教師がどうとらえ、どうつなげていったのが非常に気になりましたし、ぜひまたお話を伺いたいと思いました。本当にありがとうございました。
- 生活排水と制服に共通するのは、どちらも自分たちが変えようという意思を強く持ち、文化的背景や社会的背景をしっかり踏まえて、未来志向で両方の問題と向き合っていることだと強く感じました。自分たちで変えていくため、自分事として行動するための用意がなされ、足場や思想がしっかり固まったうえで活動が行われているように思われました。また、盲学校の生徒との交流なども自分の先入観や当たり前を疑うといった意味で、他者を認め合いより高みに向かって歩みだす様子が見て取れました。活動を進める上での方向性等たくさんの示唆をいただきました。ありがとうございました。
- ウェルビーイングに向けて人々のつながりをつくる、そんな取り組み・考え方が素敵であると思いました。髪の毛は人の印象を決める重要な要素として働いているということにも着目し、どのように人々とのつながり、協力を求めていくかを考えるその過程にとっても魅力を感じました。単に髪の毛を集めて困っている人のために・・・ではなく、そのことによって社会の幸せを創り出そうとするゴールが感じられる実践と発表でした。ありがとうございました。
- 自覚的な課題設定の基で組織的に活動が展開されています。引き続き発展するように期待します。